

事務事業名		都市公園維持管理事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画登載事業	<input type="checkbox"/> 総合戦略登載事業
政策体系	政策名	04 潤いに満ちた快適な都市環境の創造		事業期間	
	施策名	15 良好な生活空間の創造		区分	
	基本事業名	04 公園・緑地の整備		単年度繰返	
根拠法令		都市公園法第2条の3		※期間欄に開始年度を記入	
所属	部課名	都市整備部土地利用課		【開始年度】	
	課長名	伊藤 喜久雄		昭和31 年度～	
	係名	公園緑地係	電話	0192-27-3111	
	担当者	佐々木 多恵子	内線	358	
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				事務事業区分	
都市公園(37か所)、いこいの広場(11か所)、緑地(19か所)、緑地広場(3か所)、赤崎地区多目的広場を良好な状態に維持管理している事業。緑地広場は地域による指定管理(無償)を導入している。 作業員2名で巡回し、トイレ等の施設点検、軽度の修繕、枝払いや除草作業等を行っている。 この他、トイレ清掃や自動ドアの点検、浄化槽の維持管理や遊具の定期点検等の維持管理は業者へ委託を行っている。 また、30か所の都市公園は、地域活動で草刈・清掃作業等の協力を得ており、都市公園愛護活動団体(主に地域公民館等)の活動に対して謝金を支出している。 このほか、毎年県から盛川堤防法面の草刈業務も受託(主に外部への再委託で対応)している。 事業費は、遊具修繕、施設の保守点検委託などに支出される。				C 施設管理	
全体計画(※期間限定複数年度のみ)				総投入量(千円)	
				事業費	総計
				財源内訳	総計
				国庫支出金	
				都道府県支出金	
				地方債	
				その他	
				一般財源	
				事業費計(A)	0
				正規職員従事人数	
				延べ業務時間	
				人件費計(B)	0
				トータルコスト(A)+(B)	0

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)
前年度実績(前年度に行った主な活動) ・都市公園等の維持管理と県からの受託業務の実施 ・3か所の緑地広場の指定管理及び10か所の緑地の管理 ・細浦地区緑地広場の指定管理者更新事務	名称 単位
今年度計画(今年度に計画している主な活動) ・都市公園の維持管理業務については、前年度同様に実施する。 ・綾里地区緑地広場の指定管理者更新事務	ア 作業員等の延べ実働人数 人
	イ 都市公園愛護活動団体数 団体
	ウ 遊具の安全点検回数 回
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 公園等利用者、公園等施設	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)
	名称 単位
	カ 都市公園等の箇所数 箇所
	キ 都市公園の面積 ha
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 公園等の設備や機能を常に良好な状態に管理することにより、安全で良好な公園・広場・緑地の環境を整える。	ク
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) 市民等の利用者が安心・安全・快適に利用できる良好な場所を確保する。	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)
	名称 単位
	サ 遊具の要修繕比率 %
	シ 解決できなかった利用者等からの苦情件数 件
	ス 公園内での事故件数 件

(2) 総事業費・指標等の推移

投入量	事業費	財源内訳	単位	年度						
				2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(目標)	7年度(目標)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0
		都道府県支出金	千円	3,661	3,676	3,867	3,974	4,123	4,123	
		地方債	千円	0	0	0	0	0	0	
		その他	千円	43	7	2,927	66	33	33	
		一般財源	千円	14,363	14,394	13,870	13,466	14,956	14,956	
	人件費	事業費計(A)	千円	18,067	18,077	20,664	17,506	19,112	19,112	
		正規職員従事人数	人	3	3	2	2	2	2	
		延べ業務時間	時間	3,000	3,000	1,800	1,800	1,800	1,800	
		人件費計(B)	千円	12,000	12,000	7,200	7,200	7,200	7,200	
		トータルコスト(A)+(B)	千円	30,067	30,077	27,864	24,706	26,312	26,312	
⑤活動指標	ア	人	450	450	450	450	450	450		
	イ	団体	29	29	28	27	27	27		
	ウ	回	1	1	1	1	1	1		
⑥対象指標	カ	箇所	70	70	70	71	72	72		
	キ	ha	26	26	26	26	27	27		
	ク									
⑦成果指標	サ	%	9	34	10	35	10	10		
	シ	件	0	0	0	0	0	0		
	ス	件	0	0	0	0	0	0		

事務事業ID	1179	事務事業名	都市公園維持管理事業
--------	------	-------	------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	地域内の子供の遊び場や地域レクリエーション・コミュニティ活動等の場として、昭和31年に加茂公園等が開設され事業が開始された。その後も市内の都市公園整備が進むにつれて事業が拡大してきた。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	都市において緑とオープンスペースを確保する役割を持つ公園は、環境や防災上の観点からも重要性が増してきている。 東日本大震災により被災した9都市公園のうち、大田南公園は平成29年5月29日に廃止し、その他の公園は復旧が完了している。また、防災集団移転促進事業で設置された広場等については、平成29年度までに移管が完了した。平成31年には夢海公園が新設され、令和3年度には赤崎地区多目的広場が開設されるなど、管理対象が増加していることから、コストが増加せざるを得ない現状である。令和4年度に企業からの寄附により、大田公園に遊具を整備した。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	毎年、予算編成にかかる要望として、地域等各方面から市内の公園の整備・充実が多数あげられている。 市民意識調査では、遊具の充実について多数要望があげられている。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ▽ 理由・内容 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつかか？意図することが結果に結びついているか？ 施設の適切な維持管理により、利用者が安全かつ快適に利用でき、良好な都市環境の保全につながる。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ▽ 理由・内容 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 公共の施設として市が設置し、管理運営している公園等である。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ▽ 理由・内容 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 対象は、市が設置している都市公園等とその利用者に限定される。 意図としては、施設の設置目的やその機能を発揮する上で必要な事業であり適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない ▽ 理由・内容 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ 施設の老朽化に伴い、修繕を要する箇所が増えており、当課の作業員で対応できないものについては外部委託が必要であるが、予算が十分に確保できない状況にある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある ▽ 理由・内容 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 施設の劣化が進み、安全性が失われる。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ▽ 理由・内容 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 多種多様な作業や応急的な対応が必要であることから、日常、専門的に管理作業に当たる現場作業員の配置が必要であり、増員や外部委託など、管理体制を検討する必要がある。他の経費についても施設修繕や専門業者による保守管理のための委託費用がほとんどであるため、削減の余地がない。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ▽ 理由・内容 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託できないか？(アウトソーシングなど) 現場作業員は、平成22年度から正職員1名と臨時職員1名の体制であったが、令和4年度からは会計年度任用職員2名の体制となっている。管理箇所が増加していることから、作業効率の確保や安全対策上の体制の検討が必要である。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ▽ 理由・内容 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 公園は一般に開放されているため、受益機会は公平である。また、不特定多数の人が利用する公共施設であるため、一部の有料公園の施設使用料以外に受益者負担の考えはない。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性	(2) 改革・改善による期待成果	(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																					
2 改革改善(縮小・統合含む)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td>●</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> <p>※(1)改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入。 (現状維持の場合、コスト及び成果は「維持」) (終了・廃止・休止の場合は記入不要)</p>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持	●		×	低下		×	×	コスト削減と施設の安全性・快適性維持を両立するためには、個別施設計画を定期的に見直すことや、適時適切な施設管理が必要となる。 このため、作業員の業務の見直しや、会計年度任用職員の雇用等により委託料を含む事業費の削減を図る。
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持	●		×																			
	低下		×	×																			

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
2 改革改善(縮小・統合含む)	都市公園等の利用状況やニーズの把握に努めるとともに、地域との合意形成を図りながら、公園機能の集約・再編について検討する必要がある。